

精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究

研究概要

医療が目覚しく進歩した現代社会においても、こころの病は、患者さんを苦しめるのはもちろんのこと、社会に及ぼす影響も大きいことが知られています。病気等の寿命短縮年数と生活障害をおよぼす健康寿命の合計した健康被害の指標(障害調整生命年 disability adjusted life years DALY)によると、日本の DARY では精神疾患は 19%と第一位であり、がん(18%)、心血管障害(16%)と続き、自殺も 4%を占めています。精神疾患の診断や治療に関する研究が進められ、そのエビデンスに基づく診療ガイドラインも作成されていますが、それが実地臨床に反映され、役立っているかどうかについてはまだ十分にわかっていません。そこで本研究においては、精神科における診療ガイドラインの講習を行い、その医療機関における治療に影響を与えるかどうかについての検討を行い、精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果を検証し、より適切な治療が広く行われることを目的としております。

それにあたり、当院および下記の医療機関で治療を受けられた患者さんの内、一部の方の治療内容(入院期間、処方、電気けいれん療法・認知行動療法実施の有無など)を、匿名化(個人が特定できる情報とは切り離すこと)した上で、利用させていただきます。

当科での研究代表者

尾崎紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野 教授

統括研究代表者

橋本亮太 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神疾患病態研究部 部長

研究デザイン

前向き観察研究

登録症例規模および研究期間

- ① 2016年4月1日以降に名古屋大学医学部附属病院において精神科治療を受けた患者さん(一部の方)。
- ② 2017年4月1日以降に、以下の医療機関で精神科治療を受けた患者さん(一部の方)。

愛知県精神医療センター
交正会 笠寺精治療病院
国立病院機構 東尾張病院
成精会 刈谷病院
八誠会 もりやま総合心療病院
共和会 共和病院

- 患者登録にかかる調査対象期間: 2026年11月30日まで
- データ解析期間: 実施承認日~2027年1月31日
- 研究期間: 実施承認日~2027年3月31日

研究参加施設

EGUIDE プロジェクトチーム

(国立精神・神経医療研究センター、杏林大学、東京女子医科大学、他)

<https://byoutai.ncnp.go.jp/eguide/eguide-team.html>

研究の開示

本研究の結果は、個人が特定できない形式で学術会議や学術雑誌において公表する予定です。なお、本研究の成果物は本研究に登録された患者さんには属しません。

倫理的配慮、個人情報の扱いについて

本研究は文部科学省・厚生労働省「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」を遵守して実施されます。本研究では、名古屋大学医学部附属病院において精神科治療を受けた患者さんに関して、カルテに記載された内容のみを対象としてデータ解析いたします。したがって本研究のために新たな検査、治療法が追加されることはありません。また、データは匿名化することで個人情報情報は消去いたします。通常の診療で得られた内容のみを使用する研究ですので、患者さん一人ずつの直接の同意はいただきず、この掲示などによる患者さんへのお知らせをもって実施されます。患者さんにおかれましては研究の主旨をご理解頂き、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

万一、この研究への参加を希望されない場合、途中から参加取りやめを希望される場合には主治医に直接お申し出いただくか、下記の名古屋大学医学部附属病院精神科の下記の連絡先にご連絡下さい。

また、研究に対しての質問・苦情等がございましたら、下記の名古屋大学医学部・医学系研究科事務部経営企画課にご連絡下さい。

本研究に関する連絡先

名古屋大学 医学部附属病院 精神科
小笠原一能
Tel: 052-744-2282

本研究に関する苦情の受付先

名古屋大学医学部・医学系研究科事務部経営企画課
Tel: 052-744-2479